

平成17年7月12日

サッポロビール株式会社

課税移出(引取)数量報告 平成17年・上期分

サッポロビール(株) 広報室

下記の通りご連絡申し上げますので、よろしく御取計ください。

単位:KL、千函、%

<課税移出・上期分>		本年キロリットル	本年大瓶換算	前年比	前年キロリットル	前年大瓶換算
①ビール	国産	208,270	16,451	▲ 5.9	221,389	17,487
	輸入	3,867	305	56.1	2,476	196
	小計	212,137	16,756	▲ 5.2	223,865	17,683
②発泡酒	国産	70,419	5,562	▲ 37.9	113,386	8,956
	輸入	0	0	-	0	0
	小計	70,419	5,562	▲ 37.9	113,386	8,956
③新ジャンル		140,323	11,084	36.6	102,755	8,117
総計(①+②+③)		422,879	33,403	▲ 3.9	440,006	34,756
ビール+発泡酒(①+②)		282,556	22,319	▲ 16.2	337,251	26,639
雑酒計(②+③)		210,742	16,646	▲ 2.5	216,141	17,073

*新ジャンルは、ドラフトワソとスリムスの合計。

*国産は課税移出、輸入は課税引取り。大瓶換算は1函=12.66%。 *全ての数は表示の1桁下を四捨五入して算出。

*前年比は1函単位の実数から算出しているため、千函・万函単位の本表の表示数からの逆算とは異なることがある。

<ブランド別販売状況>

単位:万函、%

	<上期>			<累計>		
	本年函数	前年比	前年函数	本年函数	前年比	前年函数
黒ラベル	1,177	▲ 8.3	1,284	1,177	▲ 8.3	1,284
エビス計	391	0.7	388	391	0.7	388
ギネス	24	51.0	16	24	51.0	16
生搾り計	546	▲ 37.3	872	546	▲ 37.3	872
ドラフトワソ	1,013	26.6	800	1,013	26.6	800
スリムス	82	-	0	82	-	0

<上期トピックス：市場動向・当社全般は課税数量、ブランド別は販売数量>

市場動向：1-6月課税出荷の総需要前年比は、ビールは92.0%、発泡酒は79.8%、新ジャンルは313.9%で、ビール+発泡酒+新ジャンルでは97.3%でした。新ジャンルは急拡大しているものの、ビール・発泡酒は厳しい状況が続き、全体としても昨年を下回りました。

当社全般：当社ビールは、黒ラベルが堅調な上にエビスが好調で、1-6月ビール課税総需要を約3ポイント上回りました。当社がパイオニアである新ジャンルは、他社の参入以降も好調を継続し、1-6月の課税で136.6%でした。発泡酒は、基幹の北海道生搾りに注力しましたが、100%生搾りの下げが大きく、総需要水準には及びませんでした。

この結果、発泡酒と新ジャンルを加えた雑酒計では若干ながら昨年を下回りました。

ビール・発泡酒・新ジャンル計では、総需要を若干下回りました。

黒ラベル：明年の麦芽・ホップの100%協働契約栽培化に向けた原料へのこだわり訴求により、堅調に推移しています。

エビス：エビス、エビス黒、エビス超長期熟成のエビスブランド合計で昨年の実績を上回りました。中元、歳暮に強いブランドでもあり、下期も好調を見込み、目標達成を目指します。

ギネス：02年前年比151%の急成長後も、03年106%、04年123%、本年上期151.0%と成長を続けています。近年のアイリッシュパブ展開、ドラフトサーバー展開が奏功し、ブランド拡大が進んでいます。

生搾り：北海道生搾りは512万函(72.3%)でしたが、麦100%生搾りが34万函(23.3%)と落ち込んだ影響が大きく、発泡酒カテゴリーの前年比は総需要水準に達しませんでした。

ドラフトワソ：ドラフトワソは上期で1,013万函(126.6%)を販売し、他社参入後もその勢いは衰えていません。新しいスッキリ味で、家庭用市場の定番商品として定着しました。

スリムス：5月25日に第一次地区発売、6月22日に全国発売。ドラフトワソとのカバリアはほとんど無く、新ジャンルの健康系アルコール飲料として確実に浸透し始めています。

以上